



リサイクルマスコット「クルリ」

■発行／八王子市

■編集／資源循環部

ごみ減量対策課

ごみゼロ通信

〒192-8501 元本郷町三丁目24番1号

☎620・7256(直通) ☎626・4506

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/gomi/index.html>

あなたのみちを、
あるけるまち。
八王子

10.1

令和2年
(2020年)



食べものを 捨てない生活

10月は「食品ロス削減月間」です。

昨年施行された「食品ロスの削減の推進に関する法律」。

その中で10月は「食品ロス削減月間」と定められました。

今回は、過去3年間の調査結果をもとに、八王子の食品ロスについて特集します。

写真は食品ロス削減に関連する取組をしている方に、SDGsの目標(食品ロス関連)を掲げてもらいました。
SDGsとは、誰一人取り残さない持続可能な未来を目指した世界共通の17の目標です。

八王子の食品ロス



捨てられていた食品

食べられるのに捨てられてしまう食品“食品ロス”。
日本全体だと年間約612万トンとされていますが、八王子ではどれくらいの量なのでしょうか？

昨年度、市内の食品ロス推計量は年間約**17,400トン**でした。
この中には期限切れ前に捨てられている食品もあり、家庭から出されたものでは年間約1,200トンもありました！

まだまだおいしく食べられるのに捨てられてしまうのは、もったいないと思いませんか？

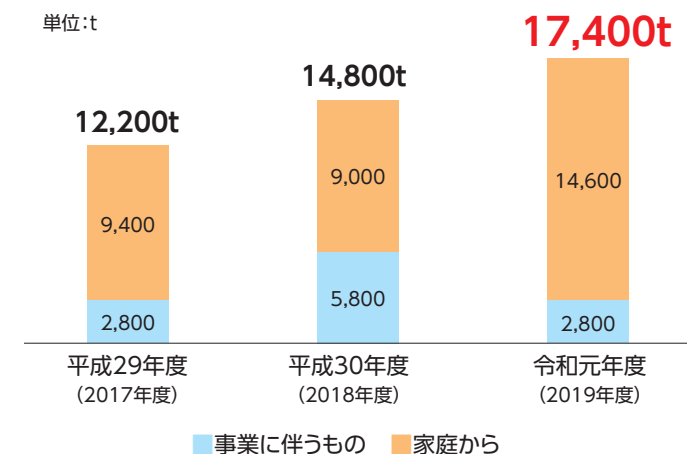


食品ロス量をイメージしてみよう！

約17,400トンを2トン積載の収集車で考えてみると8,700台分！1日当たり24台分捨てていることになります。
特にもったいないのは、期限切れ前に捨てられてしまった約1,200トンの食品です。それだけで収集車600台分になります。

八王子の食品ロス量(推計)

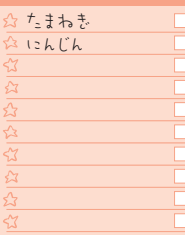
単位:t



※産業廃棄物は除く

可燃ごみ組成分析調査より

買い物リスト



買い物

- ・牛乳
- ・ヨーグルト
- ・魚

ホワイトボードなどに書けば
家族で共有することもできます。

おいしく 楽しく 食べきるために



買い物に行く回数を減らして、その分たくさん買ったけれど食べきれなかった…特に今年はそういう方も多いのではないのでしょうか？食品ロスはもったいないだけでなく、家計の負担にもなります。

食品ロスを減らすためには、食材を全部使って食べることが理想ですが、不足がないように、そして健康のこと考えて、上手に保存して、料理して…毎日のことなのでとても大変です。

そんな食品ロスですが、ちょっとした方法で減らすことができます。ご家庭で無理なく続けられる方法を紹介します。



フードバンクTAMA



フードバンク八王子



フードバンク八王子えがお

“フードバンク”へ寄付することも選択肢に

「賞味期限が一定期間あること」「常温保存可能で未開封のもの」などの条件を満たせば、家庭にある食品をフードバンクへ寄付することができます。集まった食品は、必要とされる方々へ届けられます。

市内では「フードバンクTAMA」、「フードバンク八王子」、「フードバンク八王子えがお」(五十音順)の3団体が活動しています。寄付についての詳細は、各団体へお問い合わせください。

買い物リストを作ろう

買い物リストは、買い過ぎを防ぐだけでなく、買い物時間や回数を減らす効果もあります。

まとめ売りや大袋の方が安いこともありますが、食べきれずに捨ててしまうならお金も無駄に…カット野菜や小パックを利用することも考えてみましょう。



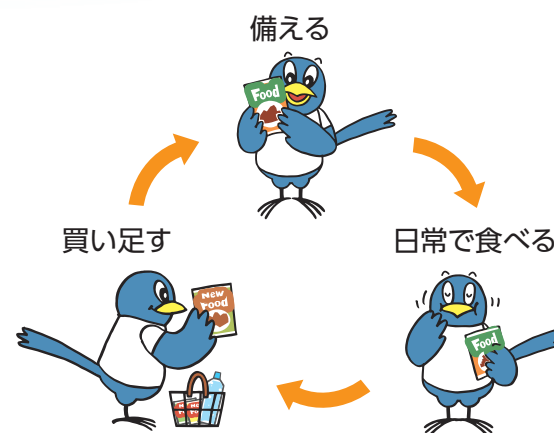
冷蔵庫の片付け日を決めよう

定期的に冷蔵庫の片付けをして、奥で眠っている食品を見つけましょう。

食材や調味料の賞味期限を知らせてくれるアプリもあるので、活用して上手に食材を管理しましょう。

「賞味期限」と「消費期限」の違い

- ・賞味期限…おいしく食べることができる期限
- ・消費期限…安全に食べることができる期限



非常食は「食べては買い足す」を基本に

非常食を確認したら賞味期限が大幅に過ぎていて処分したことはありませんか？

日持ちがするものを買って、日常的に食べては切らずに買い足すことを「ローリングストック」と言います。この方法なら定期的に賞味期限を見直すことができ、災害時にも備えることができます。



はっちくんとクルリのステッカーが貼ってあるお店が目印です。



健康応援店



完食応援店

おいしく食べて、市内のお店も応援!!

食品ロスを減らす取組に賛同しているお店「八王子市完食応援店」、健康づくりを応援するお店「はちおうじ健康応援店」。

小盛りメニューや、薄味への対応・野菜たっぷりメニューなどを提供し、健康に気を付けながら、おいしく食べきるのを手助けしてくれます。テイクアウトをできるお店もあるので、お気軽にご利用ください!

完食応援店の詳細はごみ減量対策課(☎620・7256)、

健康応援店の詳細は健康政策課(☎645・5112)へお問い合わせください。

ダンボールコンポストの取組を伝える映像で最高賞を受賞



とびかわ ゆう
工学院大学附属高等学校2年生 飛川優さん

今年の3月、SDGsをテーマとした映像コンテストでプロ・アマ含めて330作品の中から最高賞であるGOLD AWARDを受賞。受賞動画は、檜原小学校で1、2年生が行っているダンボールコンポストの取組を伝えるものです。ダンボールコンポストは自宅でも使用していて身近なものだという飛川さん。受賞作についてお話を伺いました。

ダンボールコンポストとは？

ダンボール箱に入れた基材(たい肥の元)に生ごみを入れ、微生物の力で分解して、たい肥を作ります。

※購入の際には市の補助制度を利用できます。

※たい肥の使い道がない場合は、回収に伺います。

詳細は、ごみ減量対策課(☎620・7256)までお問い合わせください。

SDGsだと思わなくてもいいと思う

ダンボールコンポストは誰でも簡単に取り組めるのが魅力です。生ごみの量を減らすことに加え、作ったたい肥を使って野菜などを育てる楽しみもあります。

生ごみを入れると温度が上がり、野菜の種から芽が出たり・・・取材先の小学校で「なんでなんで?」と興味津々で楽しみながら取り組む子どもたちの様子が印象に残っています。

私は、このような活動を広めるうえで子どもが果たす役

割は大きいと考えています。子どもたちが経験や学びを周囲に伝え、最初は家族へ、やがて地域へと普及していくと思うからです。

ダンボールコンポストも、SDGsや環境問題に対しての活動として取り組むのではなく、子どもたちのように楽しみながら、習慣として取り組めることが重要だと思います。そんな習慣が八王子から広まって欲しいと思います。

受賞動画はこちらから▶



廃棄しない
方法を模索中



「Vege Bank」規格外野菜の有効活用プロジェクト

東京工業高等専門学校 プロジェクトチーム × アーバンファーム八王子 × フードバンク八王子

東京工業高等専門学校で行われている「社会実装教育」は、学生が社会のニーズを捉え、課題を解決するものづくりに取り組む実践的技術者育成プログラムです。そのテーマの一つとして、規格外野菜の有効活用プロジェクトが進んでいます。「食べられるのににもかかわらず規格外などの理由で廃棄される野菜を、食材を必要としている子ども食堂などにスムーズに受け渡したい」。農家のアーバンファーム八王子、フードバンク八王子と協働して、野菜の供給と需要を可視化できるシステムが、北越大輔准教授のもと4人の学生によって開発されています。



曲がってしまったり、大きさが揃いないものが規格外とされます。

システム名は「Vege Bank」。今年度、システムの実証実験を行い需要側の使い勝手を検証しました。課題を少しずつ解決していきたいと言う学生の皆さん。実稼働に向けて改良を重ねていく予定です。

市からのお知らせ

古着・古布 排出自粛のお願い

古着・古布は、東南アジア等に輸出し、リユースされていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、流通が滞っている状態です。

古着・古布の回収は行っておりませんが、可能な限りご自宅での保管など、排出自粛の継続をお願いいたします。ご不便、ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。お問い合わせ

ごみ総合相談センター(☎0570・550530 ナビダイヤルをご利用できない場合は☎696・5377、☎692・0900)

大規模自然災害時のごみ

大規模な自然災害が起きると大量の災害廃棄物が一斉に発生します。生活環境の保全と公衆衛生の確保、そして早期復興のためにも排出時の分別が重要です。

出し方は、災害の状況によって異なりますが、通常の出し方とは異なる場合や、持ち込み場所(仮置場)を指定する場合があります。

詳細は、**災害時に市のホームページなどでお知らせする行政情報を確認**してください。

問い合わせ

清掃施設整備課(☎620・7461、☎626・4506)

職員の新型コロナウイルス感染により閉鎖していた館清掃事業所は、9月30日から再開します。市民の皆様にご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。今後はより、手洗い、換気、消毒等感染症対策を徹底してまいります。